

「牧之原市のくらしとエネルギーを考える」意見交換会の開催について

1 目的

福島原発事故後の現状やエネルギー問題などについて、牧之原市のP A Z圏内（地頭方地区、相良地区）の住民の皆さまが意見交換を行うことで、様々な意見、考え方に触れ、相互に理解を深めることを目的とする。

2 実施の概要

(1) 参加者の選定

- 参加人数は40名程とし、参加メンバーは固定し4回シリーズで参加可能な者を選出する。
- 参加者はP A Z圏内(地頭方地区、相良地区)の住民を中心とする。

(2) 実施方法

- 意見交換会は講演(情報提供)+ワークショップの2部構成として、全4回で各回3時間程度とする。
- 参加者を8グループ程度に分け、全体進行に市民ファシリテーター1名とグループ単位に市民ファシリテーターを1名配置しグループの進行、取りまとめを行う。
- グループに中部電力社員1～2名を配置する。

3 具体案

[第1回] 平成28年9月9日(金) 18～21時 牧之原市史料館

テーマ：**趣旨説明等**

…趣旨説明、全4回の進め方等について

[第2回] 平成28年9月27日(火) 18～21時 牧之原市史料館

テーマ：**福島現状**

…福島第一原子力発電所での事故を振り返り、原子力災害や現地での生活などについて

[第3回] 平成28年10月中

テーマ：**エネルギーと原子力発電所**

…日本のエネルギー事情、これからのエネルギー政策、浜岡原子力発電所の今について

[第4回] 平成28年11月中

テーマ：**未定**

4 アドバイザー

日詰一幸氏（静岡大学 教授）

5 会の公開

- (1) 一般公開とするが、メンバーの活発な意見交換に妨げにならないように会場設営、運営等配慮する。
- (2) マスコミ関係者に対して公開とする。